

# 道 教 組

DOKYOSO NEWS vol.526



**参加準備始まっていますか! 「全道合研2017」**

**賃金・一時金UPめざし道人事委交渉**

**第30回中央委員会 ~学びあいであつなげ、対話で豊かな教育を~**

**北海道に子ども医療費無料化の拡大を求める**

**“ぼっち”じゃない……ひとり分会から……その③**

**わたしのとっておき**

# 参加準備始まっていますか！「全道合研2017」

参加準備は進んでいますか。「合同教育研究全道集会2017」は、11月3日（金・祝）・4日（土）の両日開催です。

- 経験豊かな教職員は、若い方を誘って一緒に参加しましょう。
- 日々の教育活動や悩みを振り返りレポート（A4一枚可）を持ち寄りましょう。
- 部活などで困難がありますが、中学校の教職員の参加が特に強く期待されています。
- テーマ討論は土曜午前。遠隔の方は、2日（金）からの旅程も検討してください。

## 「教育課程」「学校づくり」が合流

可能な分科会の合流を進めようという動きの中で、今年から、「教育課程分科会」と「学校づくり分科会」が合流することになりました。改訂学習指導要領、参加と共同の教育課程づくり・学校づくりについての学びあい・交流が期待されています。また、「道德教育分科会」が新設されます。

## こんな分科会があります

……教科別……

1 国語教育 2 外国語教育 3 社会科教育 4 数学教育 5 理科教育 6 美術教育 7 書教育 8 音楽教育 9 技術・職業教育 10 家庭科教育 11 保健・体育教育 12 総合学習・生活科 13 道德教育

……課題別……

14 学校と家庭の生活指導 15 教育条件確立の運動 16 教育課程・学校づくり 17 地域における子育て・学習運動 18 地域と学校の文化・スポーツ活動 19 国民のための大学づくり 20 障害児・障害者の教育と福祉 21 環境・公害と教育 22 平和・憲法、人権・民族と教育 23 子ども・青年の発達と教育 24 不登校・登校拒否・高校中退

## 3日（金）の午前は、テーマ討論

「改訂学習指導要領で子ども・学校…」(担当：道教組)では、改訂学習指導要領と教育課程づくり、道德教育、小学校英語、子どもたちにとっての過密な学校生活などの学びと討論が期待されています。

「子どもの貧困と地域・学校」(担当：道子どもセンターなど)では、道庁・北大が行った“子どもの貧困”調査をベースに、貧困格差問題と子どもの貧困に向きあう学校・地域の姿についての学びと討論が期待されています。

## こんなテーマ討論があります

- ①新「共通テスト」で北海道の教育はどうなるのか
- ②改訂学習指導要領で子ども・学校・教育がどうかわる？
- ③子どもの貧困と地域・学校
- ④北海道150年を教育の現場から問い直す  
～アイヌの立場から～

## 記念講演は、斉藤貴男さんが 「国民が真実を知るために」

「できん者はできんまま  
で結構。…労力を、できる  
者を限りなく伸ばすことに  
振り向ける。…非才、無才  
には、せめて実直な精神だ  
けを養っておいてもらえば  
いいんです」と、学習指導  
要領づくりの中心（教課審  
会長）に座っていた三浦朱門氏に教育「改革」の  
本音を語らせた『機会不平等』（岩波現代文庫）  
など著書多数。週刊文  
春などを経てフリージ  
ャーナリストに。



全道合研 検索  
詳しくはこちら

## 道教組・高教組声明から

「全国一斉学力テスト」による競争教育・順位争いを改め、子どもたちの豊かな成長・発達を保障する教育を大切にしましょう

文科省は8月28日、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」(以下、「学力テスト」)の結果を公表しました。

文科省・道教委による「学力テスト」体制は、子どもや教員ばかりでなく、家庭までも過度な

点数競争に巻き込み、教員や子どもたちを追い込み、本来人間的成長の場である学校という空間を息苦しい競争社会に変えてきました。

文科省・道教委には、子どもと教師、保護者に過度のストレスをかける政策から、子どもたちの豊かな成長・発達を保障する教育という憲法や子どもの権利条約の基本に立ち返って、その競争主義的な教育政策を根本的に転換することを求めます。全員参加の「学力テスト」は中止すべきです。

## 道人事委勧告に向けた要請書を提出

～雇用年金の接続、賃金改善を求め交渉に～

北海道公務共闘連絡会は、このほど、「北海道人事委員会の勧告に向けた要請書」を提出しました。北海道公務共闘は2回の交渉を予定し、雇用と年金の確実な接続、賃金改善等を求めています。

### 《主な要求内容》

- 1、17年間の独自削減は、昨年一般職は終了したが、管理職についてもやめるように勧告すること。
- 2、労働実態と生活に見合った賃金・労働条件の改善・充実を図るよう勧告すること。
  - ・一時金については、年間月数を改善すること。
  - ・給料表改定は、初任給近辺の官民格差を重点に行うこと。
  - ・「給与制度の総合的見直し」における現給保障の廃止によって賃下げになる職員を生じさせないための対策を講じること。
- 3、職員の協力協同を壊す人事評価制度は中止すること。
- 4、雇用と年金の確実な接続を保障するために、以下のことを求める。
  - ・定年年齢の引き上げ。
  - ・再任用率の低い教育職については、希望者全員が再任用されるようにすること。
  - ・再任用者の賃金改善を図ること。寒冷地手当・へき地手当を早急に支給すること。
- 5、臨時職員・非常勤職員の雇用の安定を図り、

賃金及び労働条件を改善すること。

- 6、時間外勤務の縮減や各種休暇制度の充実を行うこと。
  - ・全ての職員の時間外勤務縮減や総労働時間短縮に向けた実行ある取り組みを推進すること。
  - ・割り振り変更の業務を拡大することを任命権者に求めること。
  - ・配偶者や親の通院、子どもの入学式などに使える「家族休暇」を新設すること。

### 「事務専門主任」新設&人事評価で、生涯賃金に100万円以上の差が出現

8月、事務職員の任用に関わる交渉が行われました。①事務主幹(5級)事務主任(4級・3級)事務職員(2級)事務主事(1級)という階級に事務専門主任(4級)という新たな職を設ける ②3級から4級に昇任するまでの期間は、人事評価の任用への活用により最長3年延ばす(生涯賃金100万円以上の差に)というものです。

私は現場発言として、「賃金の状況によって人生設計や家族設計が変わる。教員との賃金格差も広がる。事務職員は業務多忙化の一途をたどっている。部活も担当したり、教員以上に精神的に疲労困ぱいな職員も多い。高いモチベーションを持って働けるよう、道教委は努力すべき」と訴えました。(事務職員部長：永島敦史)

## 第30回中央委員会開催

# 学び合いで手をつなぎ、対話から豊かな教育を

9月9日、第30回中央委員会が行われました。新たに誕生した全札幌教組も含め11単組・2連絡会から中央委員が集まり、定期大会（3月）以降の取り組みを振り返り、後半期の方針を討議し、すべての議案が承認決定されました。

川村委員長は開会の挨拶で「長時間過密労働を変えよう。そのためにもゆきとどいた教育を進める取り組みが強く求められています」と述べました。続いて新保書記長は「学習指導要領・道徳教育・英語などに関わる連鎖学習会が全道的に展開されました。文科省の来年度概算要求では定員増での前進を求めます。働き方アンケートは、組合内外での対話を広げる意味でも重要。共済会と連

携した“集いあい促進”の活用が進み、今後の取り組みに期待が広がっています。11月の全道合研には若い教職員の参加を励まし、学ぶ大切さとおもしろさを広げましょう」と報告しました。



## 討論

### 広がる道徳・学習指導要領連鎖学習会、カローシ勤務の改善などを語り合う

#### 要求を持って市教委へ

女性部の要求を持って市教委と話し合った。教職員の勤務実態を把握していなかった。市費支援員の労働条件の改善を求めている。



原水禁世界大会（長崎）の代表派遣で2人の高校生を送り出した。毎年の代表派遣は大変だが、平和運動・原水禁運動を次代につないでいきたい。（釧路・藤田）

#### 連帯感広がる勤務時間の割振変更のとりくみ

学芸会などの行事を充実したいという思いと長時間労働の狭間の中で、勤務時間の割り振り変更を工夫する取り組みを通して職場の中に連帯感が生まれてきた。管理職にも理解を求めて弾力的な運用をさらに進めたい。長時間労働は無理という声と子どものためにしっかり準備したいという声がある。超勤手当支給要求も視野に、働き方を職場から考えたい。（根室・中原）



#### 校長との話し合いにつながった「悩み相談」

他の教組の方から悩みの相談を受けた。まずそちらの分会会議で相談してみたらと助言。その結果、職場のみんなで校長と話し合うことができた。職場が明るくなる。“働き方アンケート”は、他の教組の方も含め、職場のみんなが参加してくれた。（後志・平山）



#### 「大変なことは、みんなで」から始まった

「大変なことは、みんなで分かち合おう」と提案。5・6年生では、校長先生が英語の授業を担当してくれたり、みんなで力を寄せ合える学校になって来て、先生方が困ったことや人事のことも本音を出し合うようになってきた。



支部長になり緊張して教育長との交渉(?)や校長会長との懇談にも臨みましたが、きちんと話し合うことができた。（宗谷・宮里）

## 組合の会議が事例検討会みたい

組合の会議に出ると、困っていること頑張っていること、どうやって現状を打開するかの知恵ももらえる。具体的な話を聞いていると、自分の学校も見えてくる。事例検討会みたい。



小学校なのに受験ムードいっぱい学校では子どものイライラと先生のストレス。進路相談があふれる状況の中、「職場で悩みが交流できない」。みんなで話し合うと活路が見えてくる。(札幌・吉田)

## 学習指導要領を打って返す学びを

この夏は、道作文の会、沖縄での生活教育研、原水禁長崎大会と出ずっぱり。網走では、教育大札幌の前田賢治さんを迎えて学習指導要領学習会を開いた。今後の教育実践に元氣が出る学びをとお願ひした。高教組・新婦人・facebook友などが来てくれ、学習指導要領を打って返す学びが始まったと思う。(網走・山本)



## 自分の学校をこうしたいと言えるように

埼玉の貝田さんを講師に3度目の学習会。子どもから出発し子どもに戻っていく道徳の授業、ヒドゥンカリキュラムも意識した取り組み、価値項目に「主体性」が欠落していることなどが話された。教育課程づくりにあたり、自分の言葉で、自分の学校をこうしたいと言えるようさらに学びを深めたい。(上川・中村)



## 教育実践交流会を始めた

なかなか集まることができないなか、月1、教育実践交流会を始めた。教文部で計画を立てることになり、若い人も加えて企画している。「算数の実践」「体育・跳び箱の授業」「養護教諭からみた学校」などの交流をしてきた。いまから



準備をして、11月に学習指導要領・道徳の連鎖学習会をやる。(渡島・新田)

## マラソンする子どもの上をオスプレイが旋回

先日の朝、100名を超える子どもたちが朝マラソンで走り始めたとき、オスプレイが現れ、ものすごい騒音で上空を旋回していた。落ちたら大変な惨事になると感じた。日本の空を勝手に飛んでいることは許されない。慣らされず、あらためて平和のことを考えよう。(石狩・島)



## 柔軟につながり対話を大切に

持続可能な組合めざし①顔をあわせられる工夫②要求を大事に元氣の出る取り組み③集まれなかった人にも情報や連絡はもれなく伝えるよう取り組んでいる。全員集会を隔月年6回に、特定の人に負担集中させない、文書は全員に直送するなどの改善を図った。柔軟につながり対話を大切に進めていきたい。(空知・関屋)



## 「困ったことはありませんか」と

新任の養教を訪問、「困ったことはありませんか」と。町に数少ない養教にとって、専門に関わる話をしたいというのはとても強い要求だ。「食缶を反して火傷をした子どもが出て大変だった」などもあった。分会・支部の働きかけもあり、しばらくして「入りました」と報せを受けることが多い。(宗谷・和田)



## 300人めざして香山リカ講演会やります

香山リカさんのHPの〈お問い合わせ〉に、お金がないこと、講演会をやりたいことを書き込んだら、前向きな返信が来た。これまで100人が最大、300人めざしている。様々な団体個人にも協力をお願いしている。人が少ないと私の負担になるので(笑い)。(胆振・澁谷)



## 「誘っても…」と勝手に思い込んでいた

「誘っても来ないだろう」「忙しそうだから誘っても…」と勝手に思い込んでいた。隣の養教に「檜山合研に来ませんか」と誘うと、夜の交流会に来てくれた。また誘おうと思う。

こぶし座と共に文化活動講座をやっている。今年は15人。「学習発表会に使える内容で、とても楽しく勉強になった」と感想が寄せられた。(檜山・中川)



## 和歌山から札幌にきました

全教の多い和歌山から札幌へ来た。男女別出席簿にびっくり。今は通知票の作成の時期、子どものことを一番知っているのは担任なのに、何重ものチェックは苦痛だ。体操服や運動靴の指定がないのはいい。校舎・トイレもきれい。子ど



もがかわいいのはわからない。職場の方々に全教を紹介していきたい。(札幌・及川)

## 「道徳」教科書を一緒に読むところから

「道徳科」の授業をためらっていると、あの人はそういう人なんだと置いてきぼりになる。私たちには、生活指導や生活綴り方など、子どもの人格に関わる教育の伝統がある。学校は、きちんとちゃんと頑張る子を強く求め、保護者にも宿題の〇つけをさせるなど、きちんとちゃんとの子育てを求めている。安心できる場所はトイレの中とこたえる6年生。「道徳」では、人権とか平和とかを扱わなければならないと思い込んでいる先生がいる。それでは対抗軸にならない。「道徳」教科書を一緒に読むところから取りかかろう。一番心配な教材で授業をやり、みんなで研究しよう。子どもの現実から出発した「道徳」の授業は文科省も「道徳」推進の勢力も文句は言えない。(道子どもセンター・谷)



## 子ども医療費無料化を求め る北海道ネットワーク結成

## ……道教組も運動に参加

北海道は、現在、通院は未就学児まで、入院は小学生までの医療費を助成しています。それを、中学校卒業までの通院・入院医療費の全額助成を求めるといふ取り組みが広がっています。

北海道の町村自治体では、144自治体のうち116自治体が、中学卒業までの通院・入院の子ども医

療費無料の制度を創設しています。しかし、市自治体では、札幌市も含んで35市のうち実施しているのは、函館・網走・稚内・芦別・赤平・紋別・歌志内・深川・北斗の9自治体だけです。(2017.04現在)

「北海道子ども生活実態調査」(道庁HPから)では、年収200万円以下世帯の半数近くが子どもを受診させなかったことがあると答えています。

結成集会のリレートークでは、“2人の子どもの持つ世帯の医療費負担の状況”“小児科診療所での生活困窮世帯の受診抑制実態”“10月から中学生までの医療費助成が前進した余市町の取り組み”などが語られました。道教組養教部長の國保いずみさんは「家に体温計や絆創膏のない家がある」「家計を案じて病院へなかなか行こうとしない子がいる」などを紹介しました。集会では、道議会への請願を提出し、来年2月までに全道10万筆の署名運動を行うことを確かめあいました。



## “ぼっち”じゃない！……ひとり分会から…… その③

根室市立落石中学校分会

大浦 康宏（教諭）

私が勤務するのは、根室半島のつけ根に位置する全校生徒17名の小規模校です。生徒のほとんどは、漁師の家庭で、気さくで素直な子ばかりです。



私は本校での勤務は3年目ですが、何事にも一生懸命な落石の子どもたちと関わりながら教員として充実した生活を送っています。小規模校ゆえか、引っ込み思案な生徒が多く、その点が課題と感じていましたが、日々の学習や行事で、生徒同士・生徒と教員・生徒と地域の方との交流や関わり合いを深めよう、という職員の共通認識でのとりくみで、少しずつ、他者との関わりに自信をもつ様子が見られるようになりました。

保護者もそんな生徒の様子を見てか、学校に対してとても協力的です。また、漁師町という風土もあってか、保護者の方々も気さくな方が多く、日常的に顔の見える関係ができています。この点は小規模校の強みともいえるかもしれません。

そういった環境もあり、職場では職員をはじめ、保護者や地域の方々と協力しながらチームとして生徒を育てている実感があります。学校というチームづくりが、スローガン

保護者・地域の方と共に生徒を育てている実感あり！

ではなく確実に実施されている学校であるということは、私が胸を張って言えることです。そんな環境にすることで、教育は一人で行えるものではなく、人とのつながり、協力・支え合いが何よりも大切であるということを肌で感じる事が出来ました。

私は、教員試験に合格するまでに6年かかりました。その間、臨採として苦しい時期を過ごしていましたが、臨採1年目に良い出会いがあり、当時は高校で働いていたので高教組に所属しました。念願の中学校で採用され、根室に勤務が決まり、根室教組に加入しましたが、振り返ってみると、臨採の時期には組合を通じて、同じように頑張っている臨採の方々と交流したり、組合の学習会で学校にいただけでは学べない教育の本質的な部分を学んだりすることが出来ました。採用後も組合にいて、多くの方々と交流することができ、狭くなってしまいがちな視野を広くすることができています。

そういった経験が、前半で紹介したような学校づくりの一つの力として発揮できているのだと感じます。多くの関りが持てること、これが組合員の強みの一つであると思います。



### 編集後記

“学習指導要領と教育課程づくり、道徳の教科化”に関わる全道連鎖学習会が広がっています。2度3度と繰り返し深い学びに取り組むところもあります。教育運動につながりのある集まりに呼ばれることも多くなっています。▽どこでも驚かれるのが、小1道徳教科書の“背筋の伸びた深

い礼”の強要や小2の就活面接のような職員室入退室ルーチンです。こんな道徳教科書が8地区で採択されました。躊躇なく学校に受け入れられるほどに学校スタンダードが広がってきているのかもしれない。▽子ども期らしいあいさつを子ども・保護者とともに創造したいものです。(柳)

# わたしのとっておき

“とっておき”の写真・絵・短歌・川柳など紙面で紹介できる作品募集。頁下メールアドレスへご連絡を。



## このたび結婚しました

このたび、以前から交際しておりました道子さんと結婚することになりました。これからは、温かい家庭を築いていきたいと思えます。これからも夫婦共々よろしく願い申し上げます。

【加藤 賢司 (旭川市・共栄小学校)】



## 「お菓子で笑顔に」

月に一度、洋菓子店でのお菓子教室に通う時間が私の“うるおいタイム”。お店と同じお菓子を自分で作り、焼き上げている間のおしゃべりで、心からくつろぎリフレッシュ。持ち帰ったお菓子で家族も笑顔。やっぱりお菓子作りはやめられない!

【照山美由紀 (旭川市・西神楽小学校)】

# 全教自動車保険

## 「見積依頼」でハーゲンダッツをプレゼント!



dops

小納谷部長  
(川上企画)



やってみませんか  
「デイ・ライト」

- 昼間からライト点灯
- ライトは近目

安全運転への気持ちを確認し、他の運転者や歩行者などへ自車の存在、位置を知らせる効果もあります。

提携 東京海上日動火災  
保険株式会社

### 全教自動車保険加入にあたっての5つの特長

- ①無事故割引を他の保険会社や一部の共済から引き継ぎます
- ②保険料は給料引去または口座振替
- ③ご家族の車でも、何台でも加入OK
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

手続き

カンタン

有限会社 川上企画 (道教組指定代理店)

札幌市中央区南大通西12丁目4-78 ウエスト12 1階  
フリーダイヤル 0120-222-789 FAX 011-218-2472

## 道教組

2017年10月1日発行

発行 全北海道教職員組合 発行者 川村安浩 〒060-0909札幌市東区北9条東1丁目 北海道労働センター 3階

TEL(011)742-0101 FAX(011)742-1001 メールアドレス dokyoso@seagreen.ocn.ne.jp ホームページ http://www.dokyoso.net